令和　4年度（　3年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	局名	総務局
政策	健全で信頼される行財政運営の確立	課（室）名	情報マネジメント課
施策	効率的で効果的な行財政運営の推進	電話番号	087-839-2170
基本事業	電子行政の推進	事業実施主体	市
事務事業	超高速情報通信網整備事業	事業期間	平成 28年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	すべての市民が情報化の恩恵を享受、実感できるよう、合併地区におけるケーブルテレビ網と超高速情報通信網を整備するため、第三セクターの民間事業者が光ファイバーでケーブルテレビ網を整備し、その回線を超高速情報通信網として活用する整備手法を基本として、事業主体となる民間事業者と協議する中で、超高速情報通信網の整備を推進する。
4年度概要	男木島、庵治町東部・西植田町・東植田町・池田町の一部・菅沢町等の超高速通信網等の管理運営 女木島、男木島におけるＷｉｆｉスポットの管理運営

重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	④インフラ・施設等維持管理

【事業の目的】

対象（何を）	超高速情報通信網が未整備のため、超高速インターネットサービスが未提供となっている地域の市民
意図（どのような状態にしたいか）	未提供地域における超高速情報通信網整備による超高速インターネットサービスの提供

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
① 島しょ部整備率	%	81.1	81.1	81.1	81.1	81.1
②						

【事業の成果】

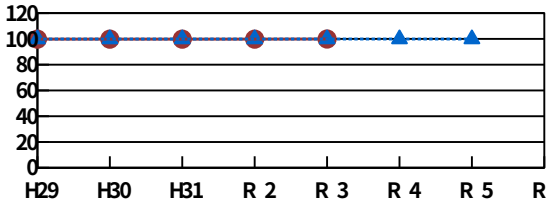
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
市域における整備率	%	目標値	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9
		実績値	99.8	99.8	99.9		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

光ファイバーケーブルが未整備であった女木島、男木島において、国の補助事業等を活用し、整備を行い、目標を達成した。

（目標達成度）



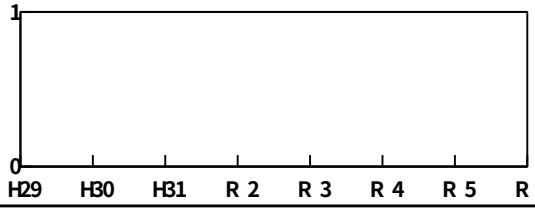
（達成度）
100.0%
35点

成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）



（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成 31年度（決算）	令和　2年度（決算）	令和　3年度（決算）	令和　4年度（予算）
トータルコスト	[千円]	14,031	12,470	625,970	20,472
(事業費)	[千円]	12,134	10,599	618,420	18,584
(職員人件費)	[千円]	1,897	1,871	7,550	1,888

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

これまで超高速情報通信網未整備地域であった、女木島、男木島において、整備済地域との情報格差の解消を図り、地域住民の情報化を推進するため、国の補助事業を活用し、超高速情報通信網の整備を行った。今後は、地域住民や産学民官連携による利活用等の促進や適切な管理運営を行う必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

地域住民や産学民官連携による利活用等の促進につながるよう、サービスに関する周知・啓発に努めるほか、保守委託など、適切な管理運営を行う。

令和　4年度（　3年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	局名	総務局
政策	健全で信頼される行財政運営の確立	課（室）名	情報マネジメント課
施策	効率的で効果的な行財政運営の推進	電話番号	087-839-2170
基本事業	電子行政の推進	事業実施主体	市
事務事業	情報処理システム管理運営事業	事業期間	平成 28年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市の情報システム及び情報インフラを適切に維持・運用する。
4年度概要	本市の情報システム及び情報インフラを適切に維持・運用する。

重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	④インフラ・施設等維持管理

【事業の目的】

対象（何を）	本市の有する情報システム及び情報インフラ
意図（どのような状態にしたいか）	効率的な情報処理システムの管理・運用

【事業の活動】

	活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
①	年間のシステム障害（３０分以上）対応件数	件	2	2	2	3	3
②							

【事業の成果】

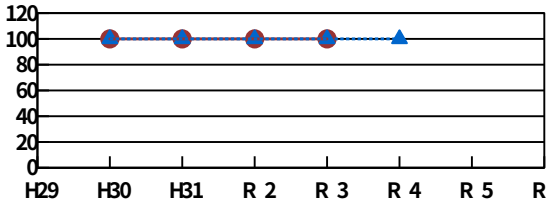
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
インシデント解決率	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	100	100		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

システム障害等インシデントの発生に対し、迅速かつ適切に対応し、すべて解決した。

（目標達成度）



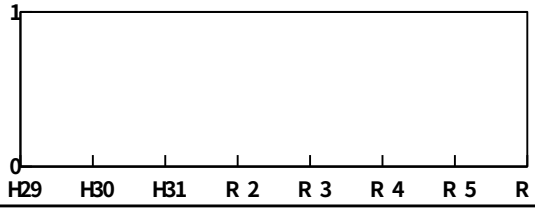
（達成度）
100.0%
35点

成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）



（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成 31年度（決算）	令和　2年度（決算）	令和　3年度（決算）	令和　4年度（予算）
トータルコスト	[千円]	939,203	835,320	796,648	888,135
(事業費)	[千円]	863,323	760,500	736,248	822,072
(職員人件費)	[千円]	75,880	74,820	60,400	66,063

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

住民情報システムや内部情報システムについて、庁内の業務が滞ることがないよう適切な運用・維持管理に努め、障害発生時には、迅速に対応し、早期復旧を実現した。また、税制改正や制度改正に伴う住民情報システムの改修を行った。情報システムや情報インフラは、行財政運営の根幹であることから、今後も適切な運用・維持管理に努める必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

情報システムや情報インフラの適切な運用・維持管理を行うほか、住民情報システム利用課と情報を共有し、税制改正等に対応するシステム改修を行い、本市のシステムが円滑かつ安定的に稼働するよう努める。

令和　4年度（　3年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	局名	総務局
政策	健全で信頼される行財政運営の確立	課（室）名	デジタル戦略課
施策	効率的で効果的な行財政運営の推進	電話番号	087-839-2172
基本事業	電子行政の推進	事業実施主体	市
事務事業	社会保障・税番号制度推進事業（デジタル戦略課分）	事業期間	平成 28年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	社会保障・税番号制度を効率的かつ円滑に推進し、行政の効率化や市民の利便性向上を図るため、必要なシステム改修を行うとともに、本市における個人番号の更なる独自利用事務やマイナンバーカード（個人番号カード）の利用拡大について、積極的に検討を行います。
4年度概要	・マイナンバーカードの普及促進 ・マイナンバーカード利活用の検討 ・マイナポイントを活用した消費活性化策の周知・啓発等

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト		事務事業の類型	①ソフト事業（法律による実施義務有）

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	個人番号制度の円滑な導入・推進を図るため、市民に対し制度の周知・広報を行うほか、マイナンバーカードの空き領域を活用し、本市独自のサービス提供を可能とすることにより、カードの付加価値を高め、普及促進を図るとともに、市民の利便性を向上させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
① 普及促進キャンペーン年間実施回数	回	7	8	8	8	8
②						

【事業の成果】

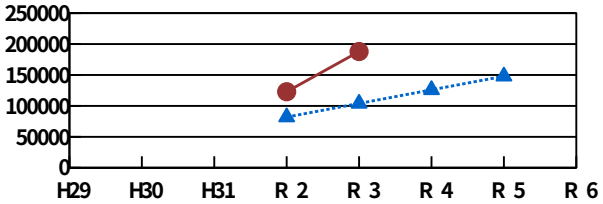
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
マイナンバーカード交付枚数	枚	目標値		82,000	104,000	126,000	126,000
		実績値		122,920	187,918		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

本庁や市民サービスセンター、総合センターにおいて、写真撮影及びオンライン申請補助サービスを継続したほか、マイナポイント第２弾の影響もあり、申請件数が大幅に増加したことで、目標を達成した。

（目標達成度）



（達成度）
180.7%

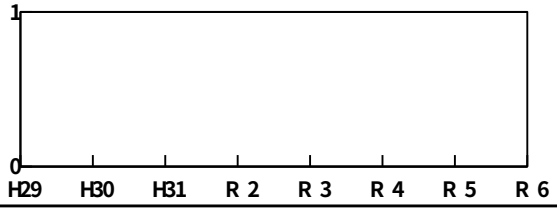
35点

成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）



（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成 31年度（決算）	令和　2年度（決算）	令和　3年度（決算）	令和　4年度（予算）
トータルコスト	[千円]	31,746	77,350	72,327	80,569
(事業費)	[千円]	18,088	63,882	63,267	71,509
(職員人件費)	[千円]	13,658	13,468	9,060	9,060

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

令和３年度にマイナポイント第２弾や、健康保険証利用の本格運用が開始されたことに対応し、マイナンバーカードの利便性や安全性について、様々な手段により周知していくとともに、カードの普及を図るための効果的な広報活動を継続して行った。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

令和４年９月末までにマイナンバーカードを申請した方に令和５年２月末までマイナポイント第２弾が適用されるため、継続してマイナンバーカードの利便性や安全性について、様々な手段により周知していくとともに、カードの普及を図るための効果的な広報やキャンペーン等に取り組む。

令和　4年度（　3年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	局名	市民政策局
政策	健全で信頼される行財政運営の確立	課（室）名	市民課
施策	効率的で効果的な行財政運営の推進	電話番号	087-839-2287
基本事業	電子行政の推進	事業実施主体	市
事務事業	社会保障・税番号制度推進事業（市民課分）	事業期間	平成 28年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	社会保障・税番号制度を効率的かつ円滑に推進し、行政の効率化や市民の利便性向上を図るため、必要なシステム改修を行うとともに、本市における個人番号の更なる独自利用事務やマイナンバーカード（個人番号カード）の利用拡大について、積極的に検討を行う。
4年度概要	①　マイナンバーカード交付・更新 ②　証明書コンビニ交付サービス ③　マイナンバーカード普及促進

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト		事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	個人番号制度の円滑な導入・推進を図るため、市民に対し制度の周知・広報を行うほか、マイナンバーカードの空き領域を活用し、本市独自のサービス提供を可能とすることにより、カードの付加価値を高め、普及促進を図るとともに、市民の利便性を向上させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
① 普及促進キャンペーン年間実施回数	回	7	8	8	8	8
②						

【事業の成果】

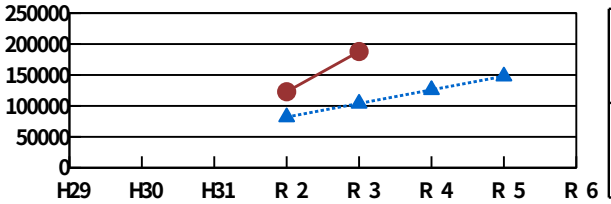
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
マイナンバーカード交付枚数	枚	目標値		82,000	104,000	126,000	126,000
		実績値		122,920	187,918		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

企業や団体、イベントでの出張申請受付を積極的に行ったこと、また、マイナポイント第二弾や健康保険証の利用開始による影響により、申請者数が大幅に増加したため、交付体制を強化し、目標値を達成した。

（目標達成度）



（達成度）
180.7%

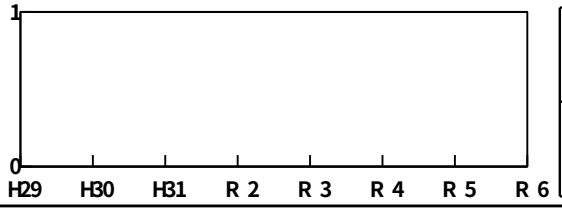
35点

成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）



（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成 31年度（決算）	令和　2年度（決算）	令和　3年度（決算）	令和　4年度（予算）
トータルコスト	[千円]	143,788	259,209	233,010	89,937
(事業費)	[千円]	98,260	214,317	180,160	37,087
(職員人件費)	[千円]	45,528	44,892	52,850	52,850

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

昨年度は、企業や団体のほか、コロナワクチン接種会場での出張申請等新たな取り組みを実施するなど、マイナンバーカードの普及促進に努めた。今後は、更に国の普及促進策が展開される予定であることから、申請者の増加に対応できるよう、交付体制の強化が必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

マイナンバーカードの普及を図るため、関係課と連携し、引き続き様々な機会を捉えた効果的な広報やキャンペーン等を実施するとともに、企業や団体に出向く出張申請受付を継続する。

今後については、委託事業者等とも連携し、イベント内で実施する申請サポート体制の拡充を図り、より多くの申請者を確保する予定である。

また、増加する申請者に対し、速やかに交付できるよう、窓口機能の充実や交付体制の強化を図る。

令和　4年度（　3年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	局名	総務局
政策	健全で信頼される行財政運営の確立	課（室）名	情報マネジメント課
施策	効率的で効果的な行財政運営の推進	電話番号	087-839-2170
基本事業	電子行政の推進	事業実施主体	市
事務事業	社会保障・税番号制度推進事業（情報マネジメント課分）	事業期間	平成 28年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	社会保障・税番号制度を効率的かつ円滑に推進し、行政の効率化や市民の利便性向上を図るため、必要なシステム改修を行うとともに、本市における個人番号の更なる独自利用事務やマイナンバーカード（個人番号カード）の利用拡大について、積極的に検討を行います。
4年度概要	情報提供ネットワーク運用 ぴったりサービス運用 中間サーバー等運用

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト		事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	個人番号制度の円滑な導入・推進を図るため、市民に対し制度の周知・広報を行うほか、マイナンバーカードの空き領域を活用し、本市独自のサービス提供を可能とすることにより、カードの付加価値を高め、普及促進を図るとともに、市民の利便性を向上させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
① 普及促進キャンペーン年間実施回数	回	7	8	2	8	8
②						

【事業の成果】

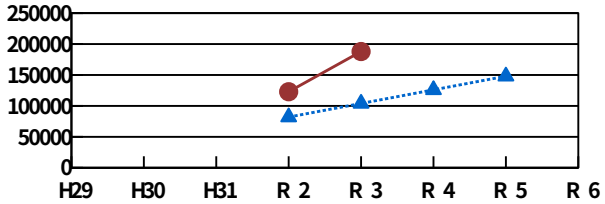
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
マイナンバーカード交付枚数	枚	目標値		82,000	104,000	126,000	126,000
		実績値		122,920	187,918		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

本庁や市民サービスセンターにおいて、写真撮影及びオンライン申請補助サービスを継続したほか、マイナポイント第２弾の影響もあり、申請件数が大幅に増加し、目標を達成した。

（目標達成度）



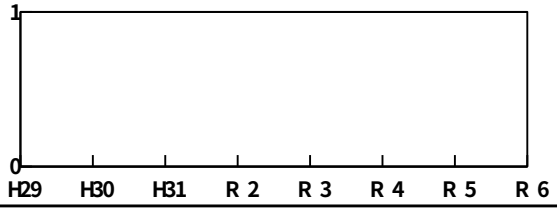
（達成度）
180.7%
35点

成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）



（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成 31年度（決算）	令和　2年度（決算）	令和　3年度（決算）	令和　4年度（予算）
トータルコスト	[千円]	35,046	50,254	49,727	41,210
(事業費)	[千円]	27,458	42,772	42,177	33,660
(職員人件費)	[千円]	7,588	7,482	7,550	7,550

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

既存システムの運用については、システムを分析するなど、より良い方法で実施できた。マイナンバーカードの普及を促進するための一つの要因に、カードの付加価値を高める必要があるため、新たなサービスを導入・提供できるかが課題である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

情報連携については、「令和４年６月データ標準レイアウト改版」に対応するため、各システム改修を国等からの指示のもと確実に実施する。

令和　4年度（　3年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	局名	総務局
政策	健全で信頼される行財政運営の確立	課（室）名	デジタル戦略課
施策	効率的で効果的な行財政運営の推進	電話番号	087-839-2172
基本事業	電子行政の推進	事業実施主体	市
事務事業	オープンデータ利活用推進事業	事業期間	平成 28年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	市民サービスの拡充や経済の活性化を始め、地域住民やコミュニティ、本市が抱える地域課題の発見・解決につなげるため、本市が保有するデータのオープン化やデータを活用できる人材の育成など、オープンデータの利活用を推進します。
4年度概要	オープンデータサイトの運用・保守 オープンデータ利活用人材の育成

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	5-①	事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	公開可能なデータ
意図（どのような状態にしたいか）	データのオープン化を推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
① オープンデータ利活用イベント等の開催回数	回	1	1	1	1	1
②						

【事業の成果】

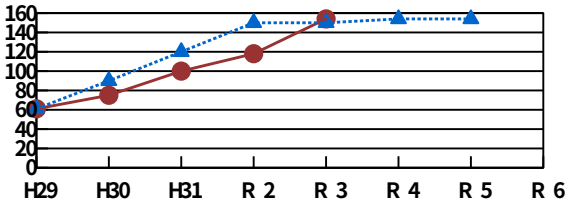
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
オープンデータ件数	件	目標値	120	150	150	154	150
		実績値	100	118	154		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

国が推奨するデータや各課が保有するデータ等を追加し、目標を達成することができた。

（目標達成度）



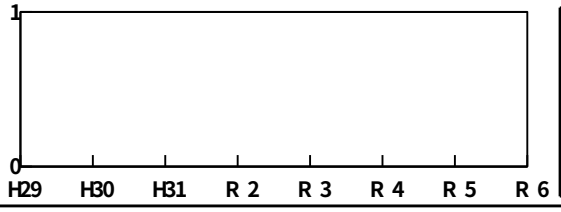
（達成度）
102.7%
35点

成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）



（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成 31年度（決算）	令和　2年度（決算）	令和　3年度（決算）	令和　4年度（予算）
トータルコスト	[千円]	9,300	5,453	6,737	7,948
(事業費)	[千円]	1,712	1,712	2,962	4,173
(職員人件費)	[千円]	7,588	3,741	3,775	3,775

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

本市が保有するデータのオープン化については、データを保有する各課の協力を得て、オープンデータ件数を増加させることができた。
データ利活用人材の育成については、香川大学との共同研究を開始し、社会課題の解決につながるデータ利活用の教育・研究プログラムを実施した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

産学民官の多様な主体によるデータ利活用を促進するため、データを高度に利活用し、課題解決につなげる人材の発掘・育成を行う。

令和　4年度（　3年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	局名	総務局
政策	健全で信頼される行財政運営の確立	課（室）名	デジタル戦略課
施策	効率的で効果的な行財政運営の推進	電話番号	087-839-2172
基本事業	電子行政の推進	事業実施主体	市
事務事業	スマートシティたかまつ推進事業	事業期間	平成 29年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	ＩＣＴ・データの活用と産学民官の多様な主体が参画する「スマートシティたかまつ推進協議会」との連携により、本市が抱える地域課題の解決を図るため、ＩｏＴ共通プラットフォームを活用して、様々な分野のデータの収集・分析等を推進します。
4年度概要	システム運用・保守 協議会・ワーキンググループ等の開催 デジタルデバイド対策 スマートシティたかまつのＰＲ マイシティレポート運用

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	5-①	事務事業の類型	③インフラ・施設等整備

【事業の目的】

対象（何を）	共通プラットフォーム
意図（どのような状態にしたいか）	複数分野のデータ収集・分析や新たなサービスの創出

【事業の活動】

	活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
①	スマートシティ推進協議会・ＷＧ等の開催件数	件	16	22	14	19	19
②							

【事業の成果】

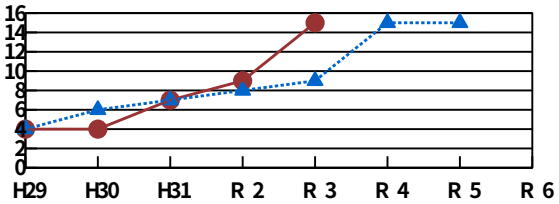
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
共通プラットフォームで収集・分析するデータ種別数	件	目標値	7	8	9	15	10
		実績値	7	9	15		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

防災分野等で新たに収集するデータを増やし、効果的かつ迅速な災害対応のための基盤を整備した。

（目標達成度）



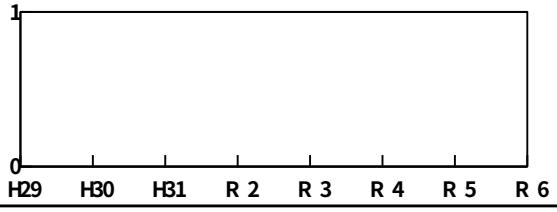
（達成度）
166.7%
35点

成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）



（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成 31年度（決算）	令和　2年度（決算）	令和　3年度（決算）	令和　4年度（予算）
トータルコスト	[千円]	39,249	39,841	65,944	47,560
(事業費)	[千円]	24,073	24,877	50,844	32,460
(職員人件費)	[千円]	15,176	14,964	15,100	15,100

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

産学民官の多様な主体で構成するスマートシティたかまつ推進協議会と連携し、地域の課題整理や解決策についてワーキンググループでの議論と実証を進めたほか、スーパーシティ構想の事業化検討を「高松市デジタル特命チーム」の協力を得て進め、同構想の内容も盛り込んだ「スマートシティたかまつ推進プラン」を策定した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

引き続き、産学民官の多様な主体で構成するスマートシティたかまつ推進協議会と連携しながら、スマートシティたかまつ推進プランに掲げる各種施策を着実に推進する。

令和　4年度（　3年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	局名	総務局
政策	健全で信頼される行財政運営の確立	課（室）名	情報マネジメント課
施策	効率的で効果的な行財政運営の推進	電話番号	
基本事業	電子行政の推進	事業実施主体	市
事務事業	ＡＩ等利活用推進事業	事業期間	平成 31年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	人口減少など、急速な社会構造の変化により、人手不足や財政的制約が強まる中、業務を効率化し、市民サービスの向上や働き方改革を推進するため、ＡＩ（人工知能）等先端技術の利活用の推進を図ります。
4年度概要	ＡＩ等運用 ＲＰＡ運用

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	5-①	事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	業務に係る時間数
意図（どのような状態にしたいか）	削減

【事業の活動】

	活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
①	ＡＩ等の導入件数	件		2	2	7	7
②	ＲＰＡの導入件数	件	5	9	11	20	20

【事業の成果】

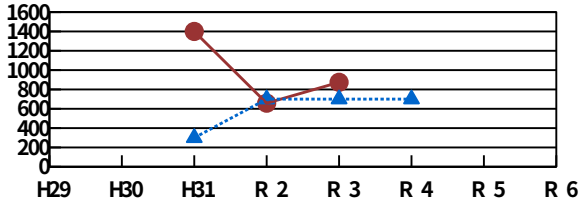
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
業務削減時間数	時間	目標値	300	700	700	700	700
		実績値	1,400	658	874		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

２業務で新たにＲＰＡを導入・活用し、ＡＩ－ＯＣＲの活用と合わせた業務削減時間数の目標を達成することができた。

（目標達成度）



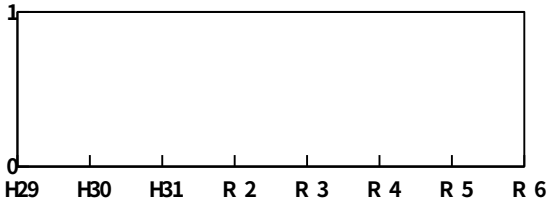
（達成度）
124.9%
35点

成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）



（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成 31年度（決算）	令和　2年度（決算）	令和　3年度（決算）	令和　4年度（予算）
トータルコスト	[千円]	11,878	13,615	13,446	16,965
(事業費)	[千円]	4,290	6,133	5,896	9,415
(職員人件費)	[千円]	7,588	7,482	7,550	7,550

【評価】

評価ランク（Ａ～Ｄ）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

新たに２業務でＲＰＡを導入し、活用するなど、事業の実施により、全庁における業務時間の削減に一定の効果が得られた。更に事業を拡充するには、各ツールを活かせるよう、業務フローの見直しや、自動化する作業のシステムへの登録など、職員のスキル向上が必要である。また、今後は、そもそも紙を使わない申請（電子申請）を利用するなど更なるＢＰＲ（ビジネスプロセス・リエンジニアリング）が必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

デジタル戦略課と連携し、デジタル人材の育成や行政手続のデジタル化に取り組む。